

テーマ：聖書の教えている霊的リーダーとはどのような存在か

○監督とその資格⑭：信者になったばかりの人でない(6)

1. 定義

「信者になったばかりの人」

(ギリシャ語：ネオフトラス=ネオス(_____) + フオ(_____))

2. 危険性

※申命記 8:14

「あなたの心が高ぶり、あなたの神、主を忘れる、そういうことがないように。…」

※イザヤ 14:12-15

「暁の子、明けの明星よ。どうしてあなたは天から落ちたのか。国々を打ち破った者よ。どうしてあなたは地に切り倒されたのか。あなたは心の中で言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山にすわろう。密雲の頂に上り、いと高き方のようになろう。』しかし、あなたはよみに落とされ、穴の底に落とされる。」

3. 適応

※ピリピ 2:3

「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。」

※箴言 16:5

「主はすべて心おごる者を忌みきらわれる。確かに、この者は罰を免れない。」

「傲慢ほど人の評判を悪くするものはなく、またこれほど自分の内にあっても気づきにくいものは存在しない。しかも、その傲慢を自分の内に持っていれば持っているほど、それに比例して相手の傲慢を私たちは嫌悪するのだ。」(CS ルイス)

※箴言 21:24

「高ぶった横柄な者――その名は「あざける者」、彼はいばって、横柄なふるまいをする。」

※箴言 15:12

「あざける者はしかってくれる者を愛さない。知恵のある者にも近づかない。」

※ピリピ 2:6-8

「キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。」

○監督とその資格⑮：教会外の人々にも評判の良い(7)

1. 定義

※1 テサロニケ 4:12

「外の人々に対してもりっぱにふるまうことができ、また乏しいことがないようにするためです。」

「未信者はじっと見ていて、抜け目がありません。彼らは仕事場や社会にあってクリスチャンがどのような存在かを観察し、言葉と行動との間に相違があれば最初にそれを目にします。」(アレキサンダー・ストラウク)

2. 重要性

※1 ペテロ 5:8

「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。」

3. 適応

※ピリピ 2:14-16

「すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行いなさい。それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中にあって傷のない神の子どもとなり、いのちの**ことば**をしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです…」

※1 ペテロ 2:12

「異邦人の中にあって、りっぱにふるまいなさい。そうすれば、彼らは、何かのことであなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたのそのりっぱな行いを見て、おとずれの日に神をほめたたえるようになります。」

※マタイ 5:14-16

「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを柀の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」

※2 テモテ 3:12

「確かに、キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。」

○まとめ